

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度 第3回 高松市都市計画審議会
開 催 日 時	令和2年2月18日(火) 14時00分～14時30分
開 催 場 所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	議案第1号 高松広域都市計画道路の変更 (高松市決定)
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	—
出 席 委 員	嘉門委員、川口委員、紀伊委員、清水委員、三笠委員 中村委員、西岡委員、妻鹿委員、大山委員、吉峰委員 佐々木委員(代理：香川河川国道事務所事務所長 檜田)、竹内委員、 栗委員、吉田委員
欠 席 委 員	太田委員
オブザーバー	—
傍 聴 者	1人(定員 10人)
担当課及び 連 絡 先	都市整備局 都市計画課 Tel 839-2455 Fax 839-2452

会議経過及び会議結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案の審議について 議案第1号 高松広域都市計画道路の変更 (高松市決定) ・ 議案第1号について 事務局より議案第1号について説明。

会議経過及び会議結果

【主な質疑・意見等】

・議案第1号

(嘉門会長)

ただ今の説明に対しまして、何か御意見、御質問など、お気付きの点がございましたら、御自由に御発言を頂きたいと思えます。

(紀伊委員)

今回、駅前広場を整備するというところで、さらに当該の駅の結節機能が高まって街全体としての公共交通あるいは鉄道利用の利便性が上がるということで大変結構な施策ではないかと思えます。

また、事務局から高松市全体の説明もありましたが、公共交通の利用者が増えているということ自体が様々な対策をとられ、うまくいっているという事ではないかと認識しており、今回の新駅及び駅前広場の整備が公共交通の利用を促進するものになるのではないかと感じております。

一方、昨年の審議会で立地適正化計画に基づく居住誘導区域とか都市機能誘導区域についても、広場のエリアに限定されて設定がされたと記憶しております。

この駅前広場が整備されますとおそらく利便性がかなり高まることになりまますので、周辺の開発も今後進んでいくのではないかと考えられますが、立地適正化計画との整合性、又は、今後、開発誘導していくのか、あるいは、制限していくのかも合せて考えていく必要があると思えますが、事務局でお考えがあればお聞かせください。

(事務局)

この度の駅前広場の都市計画決定や他の事業の進捗によりまして、駅の南東部の周辺につきましては、一定の開発圧力、店舗の立地が見込まれるのではないかと考えられます。そういったことを踏まえますと、その周辺に都市機能誘導区域や居住誘導区域等、立地適正化計画に基づく土地利用をどのようにしていくのか、地域の実情や今後の街づくりを踏まえた土地利用の考え方が必要になってくると思っております。駅の周辺は、東西に成合六条線が供用しており、少し東に南北に都市計画道路朝日町仏生山線の計画がございます。駅ができることもあります、周辺には香川大学創造工学部、その他公共施設もあり、駅の南で開発圧力が広がっていく傾向がありますので、駅ができることを契機に開発圧力を受け止める前向きな都市計画、土地利用の考え方が必要になってくるのではないかと考えております。

区域の設定については、コンパクトエコシティ推進懇談会において、今後、パブリックコメントで市民の意見を聴きながら検討していくこととしておりますので、考え方がまとまりましたら都市計画審議会にお諮りして意見聴取をして、駅周辺の要件を満たす範囲を区域設定する考え方で進めておりますので御理解いただければと思えます。

(清水委員)

公共交通の利用者数が多くなってきているとのことですが、利便性が上がった場所、改善されない場所があるように思えます。これから高齢者が増える中、どのように公共交通を利用すれば良いのか、公共交通の空白地域でもバス等で駅まで行けるような計画はないでしょうか。

(事務局)

本市では、昨年3月に高松市地域公共交通再編実施計画を改定しました。その中で、幹線バス系統の路線だけではなく、地域主体のコミュニティバス、福祉が主体の移手段もあるかと思えます。

そのあたりも含め、再編実施計画を策定しており、高松市全体の移動をグランドデザインしております。この計画に基づいて、本市では、施策や地域への働きかけを今後も行っていきたくて考えております。高齢者の免許返納の問題もありますので、公共交通を利用しやすいモデルを作っていきたいと考えております。

(嘉門会長)

先程、紀伊委員から立地適正化計画と今回の審議との関連性について御質問がございましたが、高松市は多核連携型コンパクト・エコシティ構想で、できるだけ都心あるいは居住誘導区域に人口を集めて、効率化を高めようとしている反面、拠点外にも多くの方が住んでおられるので、どのようにコンパクトエコシティ化を進めていくか、効率化するか非常に重要な問題で、非常に難しいと思います。拠点外に住まわれる方にも、配慮しながら効率化を進める必要があると思います。

(清水委員)

郊外の地域の高齢者は、いずれ自動車に乗れなくなります。私自身も街の中心部に出ていくときは、バスを利用しており、私の地域でもコミュニティバスが運行されていましたが、そのバス停に行くまでに高齢者は歩かなければならず、それもままならないので、乗客がいなくなり、コミュニティバスが廃止になっています。公共交通の乗り場まで高齢者が行けるようなシステムを作っていただきたいと思います。

(嘉門会長)

コミュニティバスでさえ規模としては大きすぎるので、やはりタクシーをどのように利用するかが重要であります。日本の場合、規制が厳しいので、中心都市の広域都市機能誘導区域は別として、郊外部の足を確保するシステムとして、国も規制緩和の方向で検討していますので、個人タクシーのような相互扶助のシステムを利用しながら、拠点外の居住性を高めていく必要があると思います。市民の生活が安全で安心できるものにするのは市政上重要な課題でありますので、公共交通空白地域がないように施策を考えていかなければならないと思います。

(吉峰委員)

成合六条線でサンメッセの東から県道高松長尾大内線までの工事を行っていますが、開通の時期の目途を教えてください。

(竹内委員)

用地買収がすべて終わっていないため、開通の時期について明言はできませんが、今年は、橋りょう工事（下部工）を行っております。あと、もう一つ橋りょうの工事が残っていますが、今のところ何年になるのか明言はできないところであります。用地買収は8割終わっております。用地買収の目途が立ちましたら、開通の時期もお伝えできるかと思っております。

(嘉門会長)

収用の見込みは考えていますか。

(竹内委員)

それはまだ、考えていないところです。

(川口委員)

駅前広場ですが、タクシー乗り場が駅舎から遠い場所にあるので、交通弱者の方でタクシーに乗られる方もいますので、1台でよいので駅舎からすぐ出た場所に乗り場を考えていただきたいと思っております。雨が降っているときもありますので、検討いただければと思います。

(事務局)

まだ案の段階ですが、今回はバス路線の再編と絡まっておりますので、基本的にはバスを優先に設計を考えているものでございます。そのため、タクシーからの乗換えが、少しバスに比べ不便を感じるような配置になっている状況でございますが、まだ確定したものではありません。御意見を踏まえ、調整できる範囲で調整してまいりたいと考えております。

(嘉門会長)

タクシーにすぐ乗りたい方もいらっしゃるので、是非前向きに検討し、バス、タクシー両方が利用しやすいようにしていただければと思います。

(結果) 「異存なし」として答申。